

Diversity Communication Program

「ダイバーシティ・コミュニケーション研修」

～多様な人材を活性化する支援型リーダーシップ～



「ダイバーシティ・コミュニケーション研修」では、今企業に必要とされる「ダイバーシティ」の視点とともに、多様な人材の力を引き出す新しいリーダーのあり方について理論と体験の両面から学びます。1日という短い時間の中で、意識と行動の変容につながる凝縮された時間を提供します。

なぜ今ダイバーシティなのか？

ダイバーシティは重要な経営課題

少子高齢化、グローバル化、価値観の多様化といった社会変化の中、女性や外国人、障がい者、シニア層など多様な社員の力をどう活かすかが企業の成長を左右します。ダイバーシティは経営戦略の一環として取り組むべき課題です。

ダイバーシティは競争力につながる

いま、市場のニーズはかつてないほど多様化しています。ニーズを捉えた商品・サービスを生み出すには、多様な人材の知恵と経験を活かすことが重要です。ダイバーシティは組織の創造性を高め、競争力の源泉になるものです。

「ダイバーシティ・コミュニケーション研修」の特長

一般的なダイバーシティに関する研修は、理論の学習や、似た属性の参加者どうしでのコミュニケーションに終始しがちです。これに対しダイバーシティ・コミュニケーション研修には次のような特長があります。

障がい者からの学び

当研修では、さまざまな障がいを持った方が講師を務めます。普段接することが少ない障がい者と対話することで、ダイバーシティに関する多くの気づきを得られます。

リアルな「体験」に基づく創発的な学びの場

当研修では、ダイバーシティをリアルに受け止め、意識と行動を変えていく「実体験」を重視しています。講師との、また参加者どうしでのコミュニケーション体験の中から、人の多様性を相互に学びあいます。

対象

- 多様な人材の力を引き出して成果を高めたい経営者、管理職・幹部社員、次世代リーダー
- 自社のダイバーシティを推進したいCSR担当者、人事・採用・教育担当者
- 顧客のニーズを捉えた商品・サービスを生み出したい、ユニバーサルデザインの考え方を身につけたい商品開発担当、サービス部門スタッフ、デザイナーなど
- その他ダイバーシティの視点を身につけたい全ての方

※ 当研修は「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」企業研修のプログラムの一部（キャンプ事前研修）を兼ねています。

「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」企業研修

様々な特性をもった多様な参加者と過ごす2泊3日の八丈島キャンプ。多様性に満ちた参加者との交流・共同体験を通じて、ダイバーシティの視点と多様性を活かすリーダーシップを学ぶ実践型のダイバーシティ研修プログラムです。

研修概要

●日程：2013年9月4日（水）9:00～17:00（予定）

●場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

●費用：30,000円（税込）

●研修プログラム

・講義「ダイバーシティの理解と受容」「支援型リーダーシップ研修」

・コミュニケーション実習「ルーム・オブ・ダイバーシティ」

様々な障がいのある講師と対話するプログラムです。「音の部屋」（聴覚障がい）、「動きの部屋」（四肢障がい）、「光の部屋」（視覚障がい）、「体験の部屋」をグループ単位でまわり、それぞれの講師の話を聞いたり、疑問をぶつけたりする双方のコミュニケーションの中から、多様な特性をもったメンバーと共に働くためのヒントを得ます。

・グループワーク（「気づき」の共有、ディスカッション）



「ルーム・オブ・ダイバーシティ」体験者の感想

- ・障がいのある方にもいろいろな人がいて、全ての人が求めることは同じではないことや、多様性を理解できた。
- ・働いている障がいのある方と話することで、生活のアイデアや仕事で心がけていることを知り、理解が深まった。
- ・視覚障がいのある講師のPCオペレーション、点字モニターのデモ、様々なPC操作方法の実演がよかったです。



◆過去の研修参加企業

(株)アイエスエフネット、岩渕薬品(株)、(有)エイ・エル・ピー、NTTクラルティ(株)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、(株)岡村製作所、コクヨ(株)、三友プラントサービス(株)、(株)スリーライト、(株)ゼネラルパートナーズ、ソニー(株)、(株)デンソー、東京地下鉄(株)、日産自動車(株)、(株)日本能率協会マネジメントセンター、(株)乃村工藝社、パナソニック電工(株)、東日本トランスポーテック(株)、富士通(株)、富士通デザイン(株)、松下電器産業(株)、三菱電機(株)、(株)リパック、早稲田システム開発(株)（五十音順）

講師紹介

<ルーム・オブ・ダイバーシティ担当>

「音の部屋」



内山 早苗

株式会社 UD ジャパン 代表取締役
特定非営利法人ユニバーサルイベント協会 理事長
NPO 法人障がい者就業・雇用支援センター 副理事長

『障がい者雇用・育成支援』『ノーマライゼーション・ダイバーシティ促進』活動に携わり、障がいの有無に関係なく全ての人が社会参加出来る環境づくりに取り組んでいる。

西岡 克浩

株式会社丹青社
文化空間事業部 CGデザイナー



CGデザイナーとして、多様な人々が集まる文化施設などの空間づくりに携わる。自らの聴覚障がいの経験を踏まえ、ユニバーサルデザインの考え方の社内外への普及や実践に向けて、積極的に活動している。

「光の部屋」



松村 道生

株式会社インクルーシブデザイン・リリューションズ 取締役
ドリームナビゲーター横浜 代表

大学在学中より視覚障がい者同士で結成したバンドでプロ活動する一方、五感とコミュニケーションをテーマにしたイベント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」にて副代表を務める。現在は各種講演、パソコンボランティアの代表、横浜市の視覚障がい者向けIT講習会講師、触知図作成などで活動中。

「動きの部屋」



渡邊 裕介

特定非営利法人ユニバーサルイベント協会 理事

発展途上国支援NGOや、障がい者支援イベントのボランティア活動を経て、ユニバーサルイベント協会の理念および主催するイベントの趣旨に共感し、協会に参画。以後は協会理事として各種イベントの企画・運営などの活動を展開している。本業は外資系コンピューターメーカーのエンジニア。

「体験の部屋」



岡村 道夫

福祉農園合同会社 代表社員

29歳の時に事故に遭い脊髄を損傷、以来車いすでの生活となる。地域作業所の運営をきっかけに、2004年障がいのある人を主体にした会社を起業。『障がいがあるからこそできる』ことを事業化し、現在は農園事業の準備中。他、移動困難者の支援など、障がいのある人の「働く」をテーマに活動をしている。

ほか、サポートの講師2～3名

■お申込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人(NPO)ユニバーサルイベント協会

東京都港区港南2丁目12番27号イケダヤ品川ビル3F (株)UDジャパン内

TEL 03-5460-8858 FAX 03-5460-0240

E-mail info@u-event.jp

NPOユニバーサルイベント協会は、参加する誰もが困難なく快適に参加でき、充実したコミュニケーションが実現できるイベントづくりを目指し、各種イベントの運営・サポート活動などを行っています。